

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2003. 10. 29

参加者 高松（仁美小） 倉橋（西大寺南小） 松本（国府小） 福井（伊島小）

例会開始に合わせて安原先生から電話があり、サイエンスフィールドで収穫した梨（新高・ヤーリー）とカボチャを持ってかえって良いということで、みなさん有り難くいただいて帰りました。

【SLING WING】高松

外国製のグライダー。発泡スチロールでできていて2つ折りにしてパチンコ（SLING）で打ち上げると、体育館の天井近くまで上昇し、ゴムの力でグライダーの形に開き、体育館の端の壁にぶつかるくらい滑空します。材質の軽さと横に長い形、それに2つ折りにするというので、こいつがうまく飛ぶとはにわかに信じがたいと思います。高松先生は東急ハンズで購入されたようですが、面白そうな物を見逃さない眼はさすがです。また、発泡スチロールトレイを使って自作してしまうところもすごいですねえ。2つ折りにしたものが開く仕組みは単純で面白いです。みんなで製作してみました。



【ロケットヘリ】高松

下は「ロケットヘリ」という商品ですが、これは以前例会で紹介した「つくばねロケット」と同じ物です。パチンコで打ち上げ、上空で開いて回転しながら落ちてくる仕組みは基本的に上のグライダーと同じです。



【モノと思考をつなぐ回路の学習】松本

12月25日に岡山県生涯学習センターで行われる初等理科冬季研修会での松本先生の発表題目は「モノと思考をつなぐ回路の学習」に決まりました。4年生「電流のはたらき」の単元ですが、今回の研究は、①直列つなぎと並列つなぎを教えるが、直列つなぎの「電気のはたらきが大きくなる」という特徴のみ触れられており、並列つなぎのよさには触れられていないこと、②光電池は晴れた日中にしか使えないと言うイメージが持たれやすく光電池のよさが理解されにくい、という2点の問題意識から、環境やエネルギー学習へと児童の興味・関心がつながる単元構成はできないものかと取り組んだものです。また、その中で操作活動に終始するのではなく、児童の回路に関する見方や考え方が深まるよう、思考活動を大切に授業を実践されています。あと1ヶ月でどうまとめていけるか楽しみです。



【万華鏡の授業づくり】福井

東広島市で160個、サイエンスフィールドで20個、灘崎小で50個…と科学教室で万華鏡作りの指導をすることになりました。万華鏡作りの指導はある程度ノウハウが蓄積されてきて何とかかなりそうなのですが、しかし万華鏡を作ってもらっただけではただの工作教室。サイエンスレンジャーとして何か科学実験ばい活動も取り入れたい、とちょっと欲がでてきました。同僚の先生から小型の実物投影機を頂いたので、万華鏡の中をモニターに映しながら鏡の角度を変えてみようかなと考えています。

